



国際交流員 ロバートのヨラム

「ドイツのお茶」

●問=地方創生課 Tel.23-1148



「お茶」と聞くと、まず思い浮かぶのは緑茶ではないでしょうか。一方で、「ドイツのお茶」と言われても、あまりイメージが湧かない方が多いかもしれません。

ドイツでは、近年流行しているミルクティーやチャイティーラテもありますが、最も一般的なのはハーブティーやフルーツティーです。ハーブティーでは、カモミールやペパーミントが特に人気で、フルーツティーではミックスベリーがよく飲まれています。お茶は病気のときに飲むもの、というイメージを持つ人も少なくありませんが、コーヒーの代わりに日常的に飲む人も多いです。

この冬にドイツに戻って、コーヒー派の私ですが、あることに気づきました。それは、お茶の種類が多さです。日本と比べ、お茶の選択肢が多いように感じました。「茶」と「ティー」の違いとも言えるかもしれませんが、お茶にあまり詳しくない私でも、そうした印象を受けました。

特に冬になると、お茶を飲む機会が増えるため、スーパーなどに並ぶ種類も一気に増えます。焼きリンゴ味や、私がすっかり気に入ってしまったシナモン・プラムといった分かりやすい味のものあれば、「あなたの休憩」（りんご、ハイビスカス、カラント）や「魂へのバーム」（カカオの皮、オレンジ、ルイボス）など、リラックス効果を意識した名前のお茶もあります。これらは仕事中だけでなく、休憩時間にもよく飲まれています。

面白いことに、日本の茶道のように宗教や精神性と深く結びついた儀式は、ドイツにはありません。お茶はあくまで、日常の中で気軽に楽しむ飲み物として親しまれています。日本とドイツ、どちらにもそれぞれのお茶の楽しみ方があります。寒い冬の日にカップを手にとると、その国の日常や価値観が少し見えてくるような気がしました。

日本のひなた宮崎国スポ・障スポ 小林市の話 **Vol.10** **KOBASPONEWS**

国スポ開催まで **602**日 障スポ開催まで **629**日 (2月1日時点)

▼ホームページ



▼Instagram



国スポ・障スポ情報
発信中!



●問=国スポ・障スポ推進室
Tel.27-3325

市役所本庁舎、すきむらんど「かじかの湯」、道の駅ゆ〜ぱるのじりで販売

お家で、職場で、地域で！小林市オリジナルポロシャツを着て大会を盛り上げよう！

2月1日から、日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ小林市実行委員会オリジナルポロシャツの一般販売を開始します。

販売場所は市役所本庁舎内売店「福祉しょつぷ ^{えみ あす} Emi-Asu」、すきむらんど「かじかの湯」、道の駅ゆ〜ぱるのじりの市内3カ所。お家や職場、地域でお揃いのポロシャツを着て、一緒に大会を盛り上げていきましょう！



小林市オリジナルドライポロシャツ

S・M・L・LL

2,310円(税込み)

カラー：ネイビー1色
プリント：シルバー



市役所本庁舎の電話保留音が変わります



2月中を目途に、市役所本庁舎の電話保留音を宮崎国スポ・障スポ大会イメージソング「ひなたのチカラ」に変更予定です。ひなたのチカラについては、音源CDを実行委員会事務局（中央公民館2階）で配布中です。お気軽にご連絡ください。

●問=小林市実行委員会事務局 Tel.27-3325